

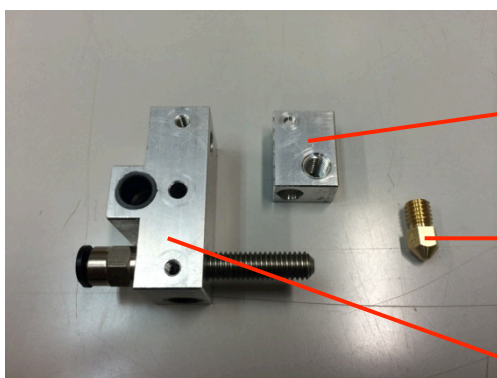
B キット組立てマニュアル

b-5 ヘッドの組立編

ヘッドのパーツを準備します。



No.9 ヘッド部品の袋に入っているヘッドのパーツ



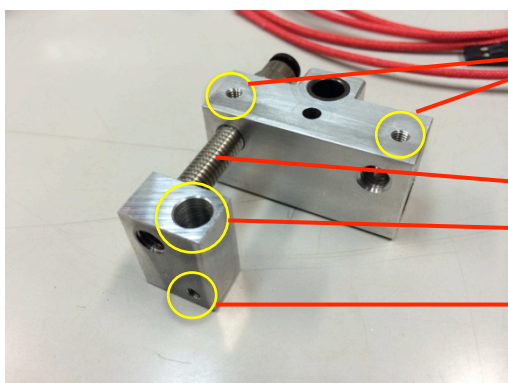
ヒーターブロック

ノズル

ヘッドブロック

写真の部品を準備します。

ヘッドブロックには予めチューブ継手とシリンダ(M6 全ネジパイプ)が固定されています。



M3 ねじ山が二つ見える面が上

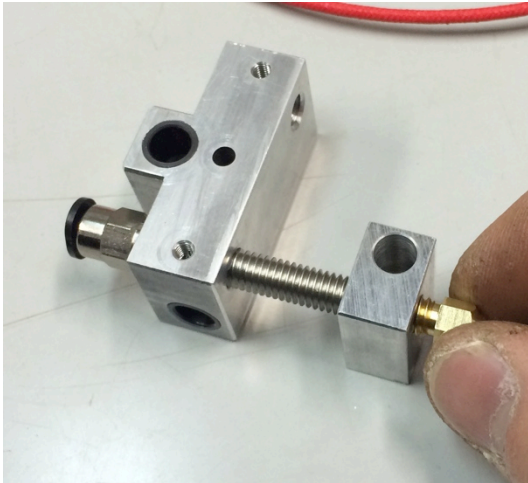
シリンダー

φ6 ヒーター穴がこの向き

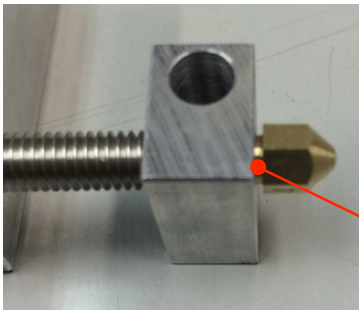
M3 ねじ山がこの面

この向きでシリンダーにヒーターブロックを取り付けます。

※とりあえずネジ穴のあるシリンダーにヒーターブロックを 2~3 周回して下さい。



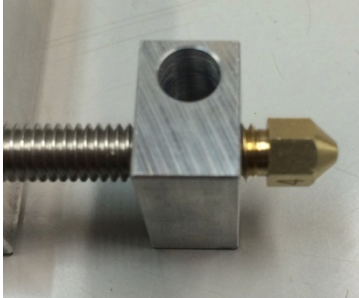
ヒーターブロックにノズルをねじ込んでみます。
ヒーターブロック内部でシリンダ先端とノズルが密着するまでノズルを回します。
※シリンダのねじとノズルのねじ規格は M6 ピッチ 1.0 です。1 回転で 1mm ネジ込みます。



このノズルの位置が適正です。

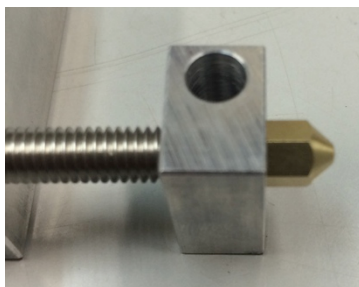
隙間が開いていて、隙間が 1mm 以内

この隙間 1mm 以内



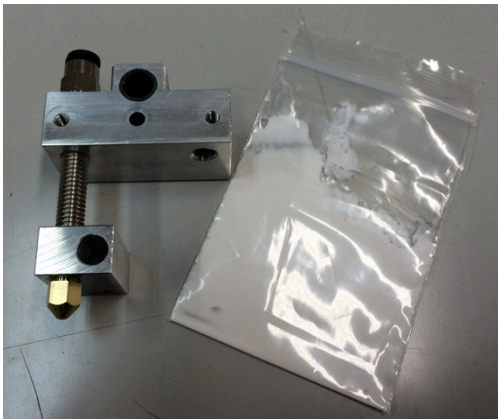
間隔が広すぎます。

この隙間が広すぎます。
間隔を調整するには、ヒーターブロックを反時計回りに一回転させます。



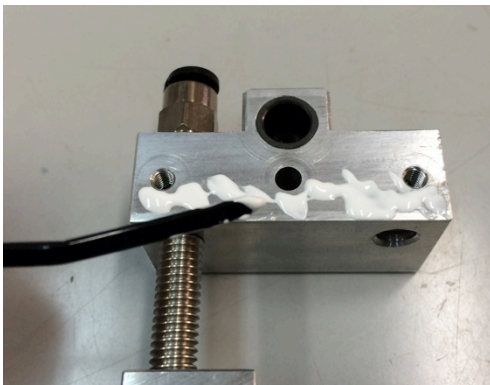
ヒーターブロックとノズルが密着しています。
この状態では、ヒーターブロック内部でノズルとシリンダーが密着していない可能性があります。
間隔を調整するには、ヒーターブロックを時計回りに一回転させます。

ヒーターブロックとノズルの距離が適正に調整出来ました。
この段階でノズルもヒーターブロックも仮止め状態です。

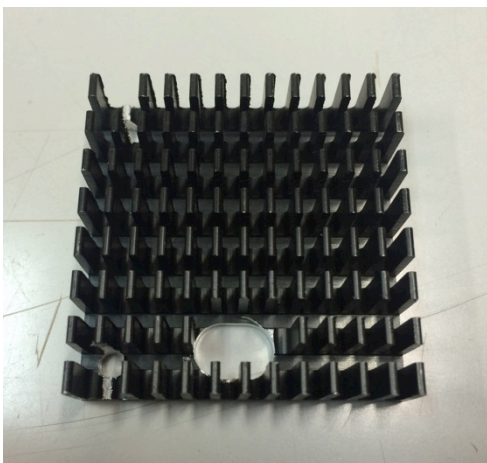


冷却ファンを取り付ける準備をします。

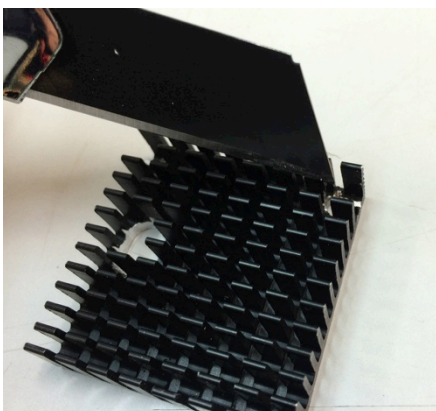
No.12 の配線パーツの袋に入った白い導熱グリスを準備します。



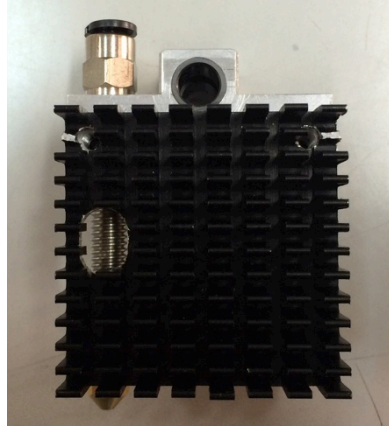
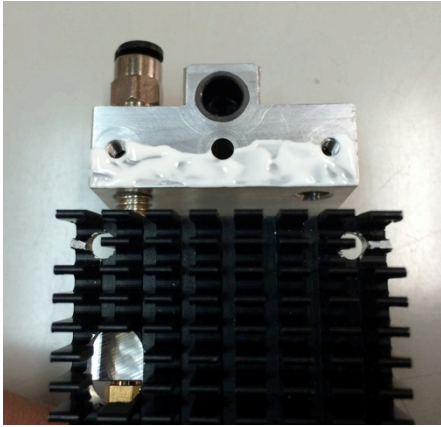
つま楊枝や結束バンドの端で導熱グリスを写真のように塗布します。



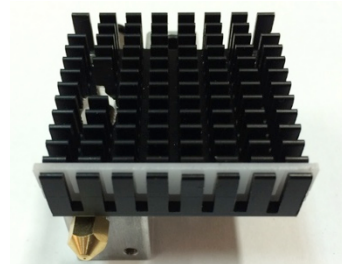
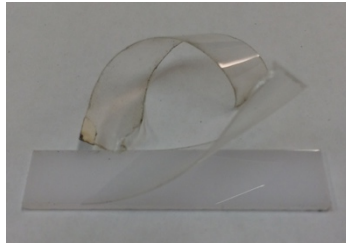
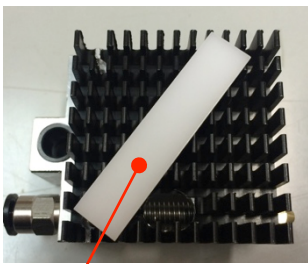
ヒートシンクを準備します。



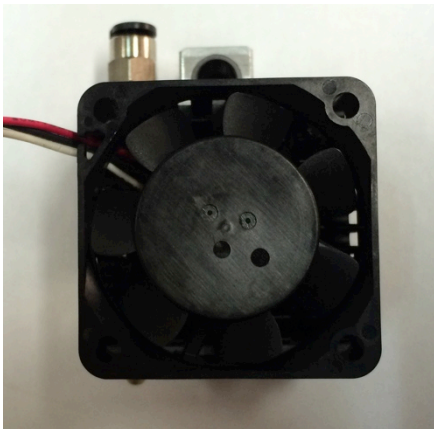
カッターでバリを取って下さい。
※カッターの取扱に注意して下さい。
小さな穴 2 箇所、大きい穴 1 箇所、加工時のバリが残っています。造形時に振動でポロポロとクズが落ちない程度にプラプラしているバリを取って下さい。



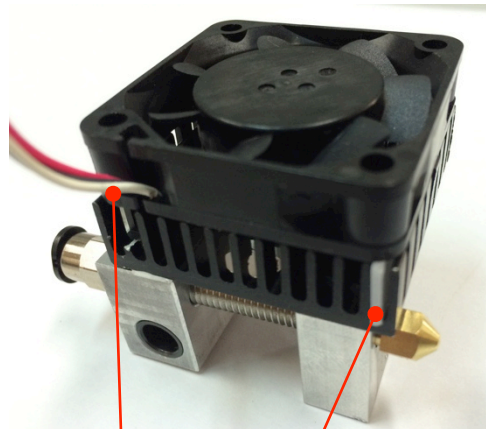
先ほど塗布した導熱グリスの面に穴を合わせてヒートシンクを乗せます。



風ストップの保護フィルムを剥いて、ヒートシンクのノズル側に挟みます。

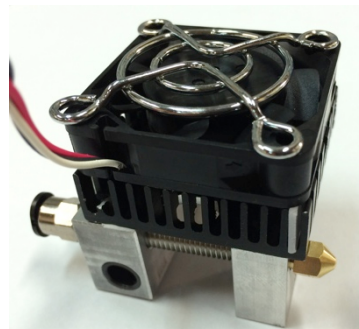
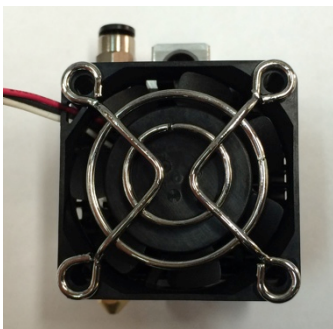


ファンをこの向きで乗せます。

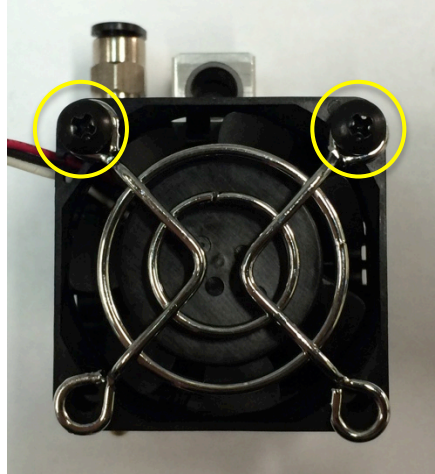


電線位置

風ストップ位置確認

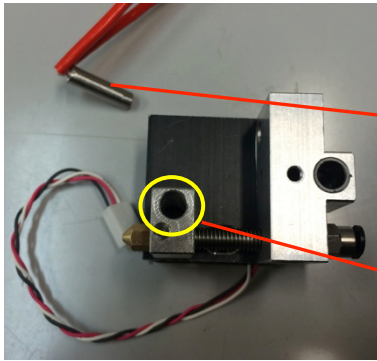


フィンガーガードを乗せます。



No.1 ねじ・ナット 12 の袋に入っている M3-25 トラスネジで固定します。

これで冷却ファンの取付が終わりました。

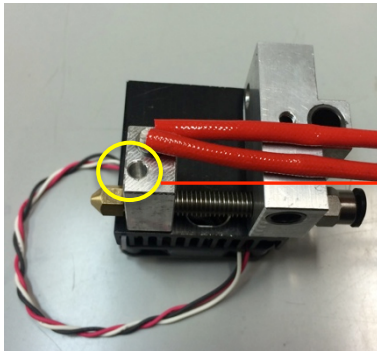


ヒーターを取り付けます。

ヒーター

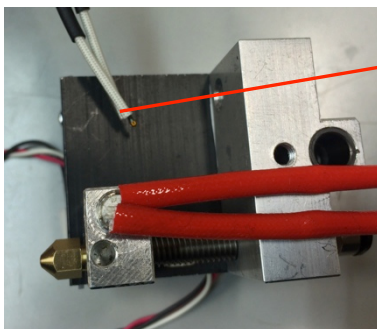
※予め配線を L 字に加工してあります。(角度の微調整はして下さい。)

ここがヒーター穴です。



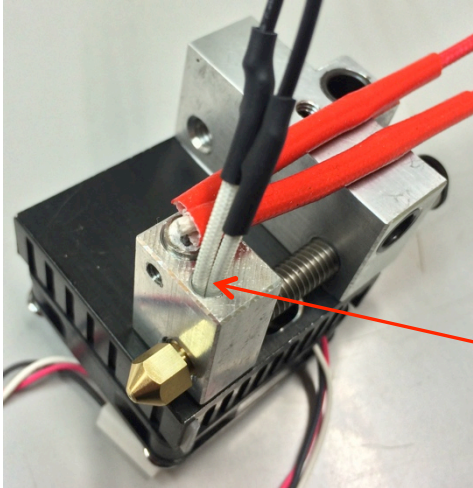
ヒーターを穴に挿入しました。

ここがサーミスター用穴です



サーミスターを準備します。

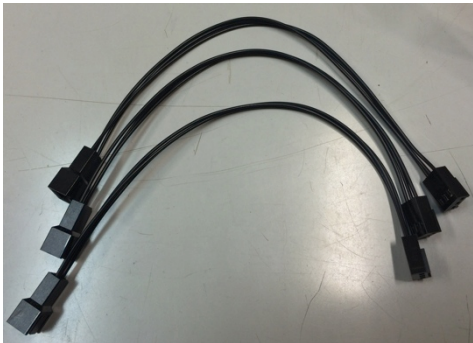
※サーミスターの本体付近の芯線はとても細く破断し易いので取扱に注意して下さい。



サーミスターを穴に入れる際、導入部でガラスチューブの端面と引っかかります。ガラスチューブをつま楊枝等で少し穴の中に押しこむ感じで、無理には差し込まないで下さい。ガラスチューブが剥けて芯線が露出し温度計測不良になります。

ここが引っ掛からないように

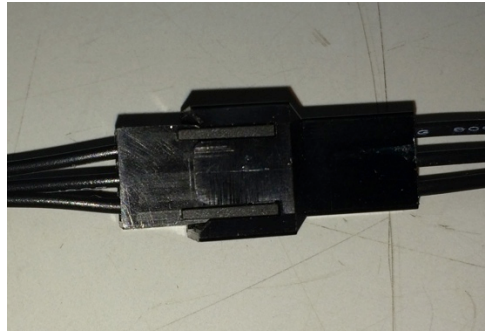
サーミスターを奥まで差し込みます。この穴の深さは 11mm です。



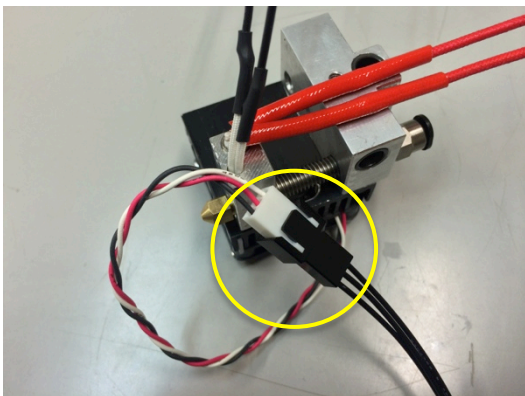
ファン延長ケーブル 3 本を直列に繋ぎます。



奥まで入っていません ☒



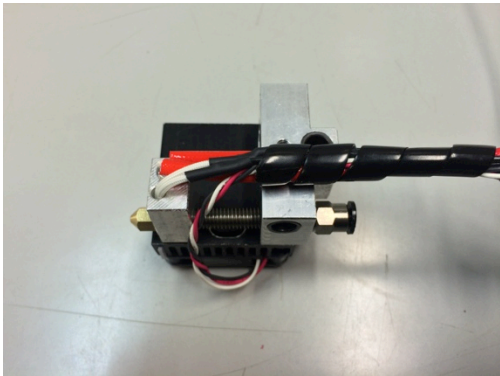
正しく接続されています ○



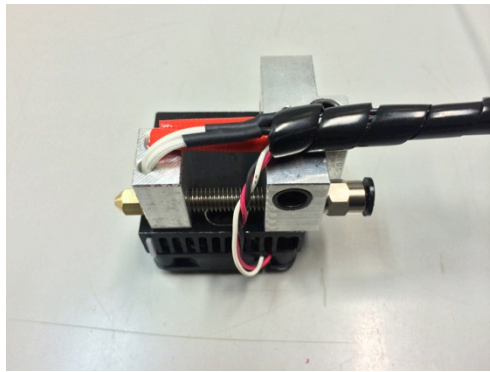
先ほどヘッドに取り付けたファンのケーブルを延長ケーブルと接続します。



No.12 配線パーツの袋に入っている
スパイラルチューブを 60 センチにハサミ
で切断します。



5 センチくらい
スパイラルチューブを巻きます。



ファンの電線を整えます。

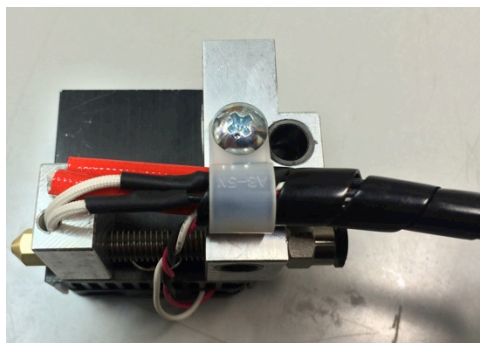
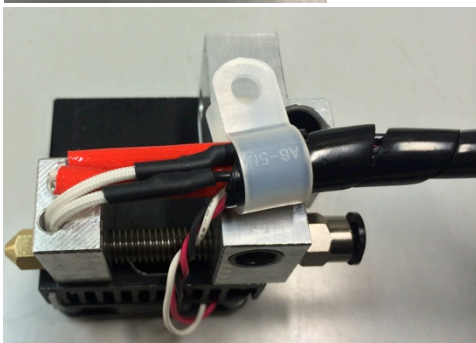
※サーミスターが奥まで入っていることを確認して下さい。
※サーミスターは切れやすいので取扱に注意して下さい。



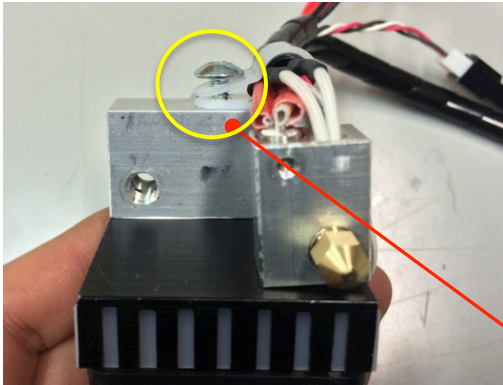
ケーブルクランプを準備します。
ねじは M4-8 トラスネジです。

ケーブルクランプ

M4-8 トラスネジ



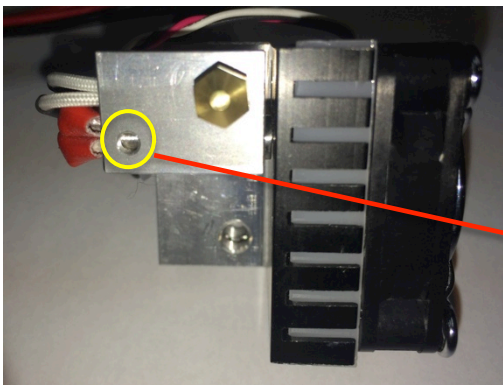
スパイラルチューブの上からケーブルクランプを被せて、M4-8 トラスネジ
で固定します。



ケーブルクランプを横から見た図
完全に締めずに間を少し開けた状態に
してください。

※締めすぎるとネジ穴貫通した先のヘ
ッドロッドと干渉します。
目安としてねじ3回転締めて下さい。

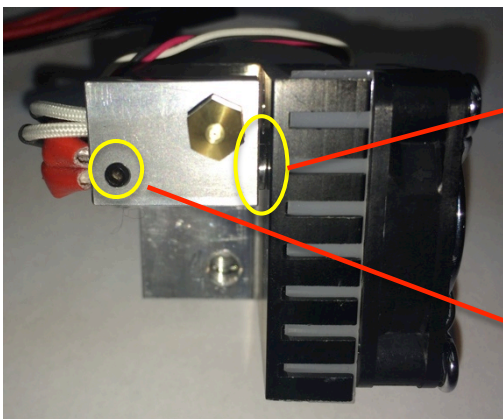
間隔をあける



ヒーターの固定

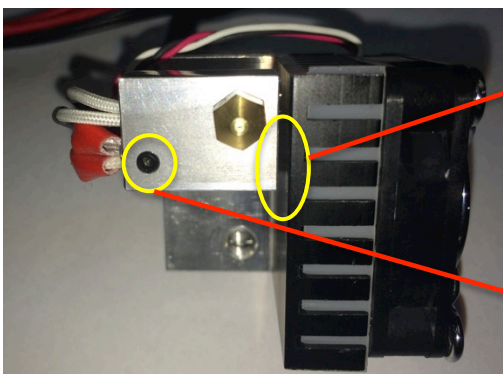
ノズル面から見るとヒーターを止める
ネジ穴が見えます。

M3のネジ穴



ヒーターが出っ張っている場合、ヒー
トシンクにヒータが接触するとヒート
ブロックを冷やす事が出来なくなり、
造形に影響がありますので、以下のよ
うにします。

No.1 ねじ・ナット 16の袋に入ってい
る M3-3 ホーローセットを仮止め



ヒーターが出っ張っている場合、
引っ込めて

次にヒータを固定させるためにホーロ
ーセットを締めます。※締めすぎに注
意して下さい。軽く締めて止まったら
30度位



この様な状態でヘッド部の完成です。